

PKI Day 2019

パネルディスカッション「トラストサービスの在り方」
欧州動向と世界の中の日本



宮地直人 (miyachi@langedge.jp)

2019年4月17日

2月5/6日、ETSI ESI #65 参加報告

ESI: Technical Committee (TC) Electronic Signatures and Infrastructures.

JNSAはETSIの準会員です。

ESIは年に数度会議を開いており#65の前は#55に参加したので3年ぶりの参加。



ESI #55が開催された2016年はeIDAS施行の年でした。今回の#65の状況と比較して報告。

ETSI ESI #65 とそれ以前の比較

ESI #55 以前:

- eIDAS施行時まではコアメンバーのみであった。
 - 特に重鎮の意見が強く反映されていたと思える。
- 膨大なEN規格を作るために集中していた。
- 主に署名フォーマットや基本的なポリシーの策定。

ESI #65:

- コアメンバー以外に各国代表の技術者が参加。
 - 参加人数も増え、新しい人も増えて世代交代も感じる。
- EN規格を補強するガイドライン的なTS検討。
 - 署名検証やクラウド署名と細かな運用ポリシー等の策定。
- 相互運用性の重視と取り組み。
 - 今年中に署名検証プラグテストを実施予定。
 - ISOやCA/B Forum等の国際仕様への取り組み。

ETSI ESI から見た欧州動向

- トラストサービスのEU内標準化
(EN: 各国内の標準とする義務あり)は完了!
- 実運用で必要となるガイドライン
(TS: 各国内で採用するか判断可能)を作成中。
- 相互運用性を高める為に作業中で
署名検証プラグテストも実施予定。
- 欧州標準を世界に広める為にISO
等の国際標準化活動にも注力。
- **視線が欧州(EU)内から世界へ
戦略を持って活動している!**

EN:
European
Norm

TS:
Technical
Specifications



私見：世界の中の日本



欧州 (EU)

トラストサービスの域内標準化を戦略的に進めており、米国や日本に対し共通基盤の利用を押し。専門家への予算もある。

PKI布教

eIDAS対応

だんだん近づきつつあるような...



米国

電子認証に関する標準化をNISTが推進している。民間主導のクラウド署名等が広まりつつあり欧州や日本へ進出中。



日本

トラストサービスの標準化はどこが戦略を考えて、主導するのか？
欧州や米国の標準を取り込むことで良いのか？
専門家は手弁当？

同じPKIベースであり共同して活動？

ETSIとJNSAの間は標準化で良好な関係。

eIDAS対応すれば日本市場も対応ができると考えている？



私見：標準化活動(主にISO)

1. EUの意向でETSI/CENが標準化して、米国はNICTとデファクト標準が多い日本の戦略は？現状では各個の戦術レベル...
2. 国によって法的も含め要件や状況は異なるので黙っていたら不利な標準化が行われる。
3. 標準化から参加してこそ発行されてすぐに対応・利用が可能になるし、専門家も育つ。後継者・専門家の不足にも役立つのでは？
4. ISOは国単位の投票であるので、本来業界や個人の手弁当でやるべきではない。現状ESI参加の渡航費もJNSAから出ている。